



Weekly Report

2014～2015 年度会長方針「**伝統と変革、より良いクラブを築こう**」

創立/1986年2月19日 (会長)渡邊 裕之 (副会長)村山 圭治 (幹事)榎田 隆治
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1359 回例会

2014 年 11 月 19 日

本日のプログラム

例 会 12:30 ~ 13:30
 卓 話 財団について
 地区ロータリー財団委員会
 平宮 力夫氏
 紹介者 佐々木通博会員

🎵 今月のソングリーダー 渡邊 裕之 会長 🎵

前回の例会報告 2014 年 11 月 12 日

次回のプログラム

北分区16クラブ合同例会・IM
 於：パレスホテル東京
 登録受付開始 11:00
 食事開始 11:30
 北分区合同例会 12:30
 I M 13:00
 特別講演 14:10
 閉 会 15:00
 ※11月26日(水)例会は北分区合同例会・IMへ振替になります。

会 長 報 告

①2015年2月16・17日京王プラザホテルにて開催されます地区大会登録のお願い 1人でも多くの会員の参加をお願い致します。記念講演には宇宙飛行士で、日本科学未来館館長毛利衛氏を予定。

②地区ローターアクト委員会より、9月に引き続きローターアクトクラブ例会情報が届いております。池袋ロータリークラブでも推奨をしており、すばらしいローターアクトが、おりますので、是非この機会に例会におじゃましてみたいかたがでしょうか？

③東京東久留米RCより、ロータリー財団地区補助金を使用した南沢水辺公園10周年記念誌をお送り頂きましたので回覧してごらん頂ければと思います。

平成26年11月11日(火)に次々年度会長についての指名委員会を行い次々年度会長を指名いたしました。

この他、村山圭治会長エレクトより次年度役員・理事候補者の推薦が以下の通りありましたので発表を致します。

尚、次年度役員のうち副幹事につきましては、指名委員会より候補者の推薦があり次第公示致します。

候補者氏名

会長エレクト (次々年度会長)	榎原 一久
次年度役員 副会長	榎原 一久
幹 事	中島二三男
会 計	月井 雅夫
同理事 社会奉仕委員長	細田 新子
国際奉仕委員長	吉田 武輝
青少年奉仕委員長	高橋 努務

が現在村山圭治会長エレクトより推薦を受けている理事役員です。

■ゲスト

卓話者 とげめき地蔵尊 高岩寺 住職・医師
 来馬 明規様
 ご紹介者 産経新聞 佐藤 久雄様

■ビジター

東京池袋RC 松木 正通様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	10月29日分 修正出席率
33名	28名	18名	10名	64.29%	85.71%

四つのテストでタバコを観る

高岩寺住職・医師 来馬明規氏



ロータリーの哲学をあらわす「四つのテスト」に感化されて、四段活用ならぬ「タバコ四段・喝ヨ！」を作ってみました。タバコのすべてをこの4行に込めました。

1. タバコを作って死に
2. タバコを売って儲け
3. タバコを買って騙され
4. タバコを吸って死ぬ

1) 作って死に：葉タバコ生産国における児童労働

タバコ製品の原料となる「葉タバコ」は発展途上国で小さな子ども達が作っています。葉タバコ生産は「最悪の児童労働」とされ、(1)日当数円～数十円の低賃金、(2)長時間の重労働で通学もままならず、(3)皮膚を通じて吸収されるニコチンの急性中毒を反復し死亡、(4)化学肥料・農薬汚染、そして(5)葉タバコ乾燥の燃料を調達するために、森林の大規模な伐採が発生しています。

講演ではアフリカ・マラウイの葉タバコ農園における児童労働を挙げ、毎日新聞記者と共同企画取材したインドネシアの児童労働は、配布資料で示しました。

www.plan-japan.org/topics/world/090828.html

2) 売って儲け：依存症ビジネスは莫大な利益を生む

子ども達が搾取に喘ぎ、自然破壊が進行するなか、タバコ会社は莫大な収益をあげ、取締役たちは年に数億～数十億円の報酬を得ています。

途上国から1キログラム100円程度で出荷される葉タバコ（在マラウイ日本国大使館HPより）が、25箱ほどの紙巻タバコ製品になり、日本では総額1万円を超える売り上げとなります。これが半分を税金で持って行かれても十分ビジネスが成り立つ理由です。

3) 買って騙され：「哀煙家の死向品」

ニコチンは覚醒剤や危険ドラッグ同様に依存性があり、受動喫煙でも発ガン性や動脈硬化作用があるのに、キレイな箱に入れられ、「吸う方と吸わない方の共存社会の実現」などと、聞き心地の良いコピーが横行しています。

タバコ利権者らはマスメディアを買収し、世界常識ではとっくに否定されている「分煙」なる言葉を喧伝し、政治・経済・教育・医療の分野に違法に介入しています。

「合法的な愛煙家の嗜好品」というセリフは「拷法的な哀煙家の死向品」という漢字が正しいでしょう。

4) 吸って死ぬ：毎年600万人がタバコの犠牲に

タバコを吸うと平均10歳も早く死にます。世界で毎年600万人が喫煙関連疾患で命を落とし、早ければ20～30代で亡くなります。

喫煙は「ゆるやかな自殺」で、喫煙者は「長く苦しんで早く死ぬ」のです。「長生きする人もいます」と抗うこと自体が依存症の症状であり、まるでロシアンルーレットです。

タバコ消費にはかならず「低教育」と「貧困」が発生します。教育・福祉に費やされるべきお金や時間がタバコ利権にまき上げられているからです。

以上、タバコ消費は「真実の隠蔽」「経済的奴隷という不公平」「嫌悪と反友情が発生」「生命の喪失」を生みだしています。これらを防止するはずの国際条約「タバコ規制枠組条約(FCTC)」は、我が国ではほとんど機能していません。

タバコは四つのテストにひとつたりとも合格しない、反社会奉仕的存在であるといえるでしょう。タバコは人類史上最悪の農工業製品であることをご理解いただければ、大変ありがたく思います。

略歴 1963年生 日本医大卒 同大循環器内科・東京医歯大難治研・米国エモリー大学・東大医科研・理研脳科学研を経て2006年より現職
総合内科・循環器・禁煙指導専門医・医学博士
日本禁煙学会評議員・消防庁応急手当指導員



記念写真

ニコニコ  BOX

細田会員／先週のホームミーティングでは、温かいふんい気の中、おいしいお食事と話し合い、楽しくすごさせて頂き、ありがとうございます。実は先週おさいふを忘れて（汗）一週おくれの御礼となりました。